

神奈川県民ホール開館 30 周年記念事業

## 團伊玖磨メモリアル

神奈川県民ホール開館 30 周年記念コンサート～つづく未来へ～

2005 年 1 月 9 日(日) 17:00

会場 神奈川県民ホール 大ホール

指揮: 現田茂夫

ソリスト: 小林武史(ヴァイオリン)・足立さつき(ソプラノ)・勝部太(バリトン)

合唱: 團伊玖磨メモリアル特別記念合唱団(一般公募)・神奈川フィル合唱団

児童合唱: 赤い靴ジュニアコーラス(指揮: 川辺晶子・ピアノ: 般若須美子)

ピアノ: 小谷彩子

管弦楽: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

合唱団音楽監督: 近藤政伸

合唱指導: 上野正博・岩本達明・藤井美紀(ピアノ)

児童合唱指導: 川辺晶子・般若須美子(ピアノ)

構成・演出: 八木清市

企画・監修: 岩井宏之

協力: 神奈川県合唱連盟 後援: 朝日新聞社・福岡市

助成: (財)アサヒビール芸術文化財団・(財)全国市町村振興協会・(財)地域創造・(財)三菱信託芸術文化財団  
(社)企業メセナ協議会認定

**『ぞうさん』、『花の街』、『オペラ』『夕鶴』～戦後日本を代表する大作曲家、團伊玖磨の芸術世界！  
圧倒的迫力！350 人の合唱と大オーケストラの競演。團伊玖磨のいまだ知られざる幻の大作  
『筑紫讃歌』、首都圏堂々初演！**

神奈川県民ホールは、お蔭様をもちまして 2005 年 1 月に開館 30 周年を迎えることとなりました。これを記念しまして神奈川とゆかり深い作曲家・團伊玖磨の芸術世界を紹介する演奏会を開催いたします。

神奈川県民ホールでは、1994 年の開館 20 周年記念の團伊玖磨作曲オペラ『素戔嗚<sup>すまのあ</sup>』初演を機に、現代日本オペラの上演を続け、團伊玖磨の作品をはじめ数々のオペラ作品を上演して参りました。團伊玖磨は、誰にも親しまれている童謡から壮大なオペラ作品まで、幅広いジャンルの音楽を作曲し続け、2001 年に世を去るまで常に戦後の日本音楽界を牽引して参りました。

開館 30 周年を迎えるにあたり、この日本を代表する国民的作曲家・團伊玖磨に焦点をあて、オペラ・アリア、管弦楽付き合唱曲、吹奏楽曲、器楽曲、歌曲、童謡まで團氏の様々な作品を紹介いたします。加えて、本公演では團伊玖磨の多彩な活動を記録した写真や映像なども織り交ぜ、その幅広い創作活動の軌跡を紹介し、また團伊玖磨とゆかり深いアーティストを招くなど、多角的で水準の高いコンサートを目指します。

特に本公演で注目されるのは、いまだ知られざる大合唱曲、『合唱とオーケストラのための組曲「筑紫讃歌」』の演奏です。團伊玖磨らしいスケールの大きさで、オペラをも感じさせる團伊玖磨の魅力が集大成された大作であるにもかかわらず、これまでにほとんど演奏されていない幻の大作でもあります。

首都圏初演の『筑紫讃歌』を含め、本演奏会の広報にぜひご協力下さいますようお願い申し上げます。

\* S 6,000 円 A5,000 円 B3,000 円 学生 2,000 円 \*

主催・お問い合わせ 神奈川県民ホール【(財)神奈川芸術文化財団】

〒231-0023 横浜市中区山下町 3-1 TEL.045-633-3685 FAX.045-641-3184

プロデューサー: 永井健一 制作担当: 赤江

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

【プログラム ~ 團伊玖磨作曲 ~】

新・祝典行進曲

ヴァイオリンと管弦楽のためのファンタジア No. 1

オペラ『夕鶴』より ~ 〈私の大事な与ひょう〉

オペラ『ちゃんちき』より ~ 〈おとっさまの死〉

歌曲集『わがうた』より ~ 〈ひぐらし〉(追悼歌)

童謡『ぞうさん』『やぎさんゆうびん』『おつかいありさん』

合唱とオーケストラのための組曲『筑紫讃歌』

~ (序詩) (安曇の磯良) (ヒコジとヒボコ) (鴻臚館の栄え) (女神の独唱) (この橋わたれ) (終詩) ~

【出演者プロフィール】

現田茂夫 Shigeo Genda (指揮)

東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京芸術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年には安宅賞受賞。86年、二期会オペラ『ヘンデルとグレーテル』でオペラ・デビュー後、『こうもり』等、二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも着実に実績を積む。1987年9月、新星日本交響楽団指揮者に就任。翌年4月、新星日響第108回定期演奏会でマーラーの『交響曲第5番』を指揮し、鮮烈なオーケストラデビューを飾った。1990年5、6月新星日響とヨーロッパ演奏旅行。その後同年10月から、ウィーン国立歌劇場に国費留学。チェコを始めとして、イタリア、ドイツ等での客演も多く、国際派指揮者としての評価も高い。1996年9月、神奈川フィルハーモニー管弦楽団指揮者、2000年9月より同常任指揮者に就任した。いま、最も期待されている指揮者の一人である。

小林武史 Takeshi Kobayashi (ヴァイオリン)

第18回毎日音楽コンクール・ヴァイオリン部門第1位。1955年東京交響楽団、1961年チェコスロヴァキア国立ブルノ・フィルハーモニー、1964年オーストリア・リンツ州立ブルックナー交響楽団、1967年読売日本交響楽団、各コンサートマスターに就任。1971年読響を退団。以後1972年から毎年、海外に演奏旅行、現在に至る。北米、南米、ヨーロッパ、中近東、アジア全域。「ブラハの春」国際音楽祭、ミュンヘン国際音楽祭など、各国の著名な音楽祭にも招待され出演。国際交流基金音楽使節としての派遣は9回に及ぶ。1988年度文化庁芸術祭参加ヴァイオリンリサイタルに於いて芸術祭賞を受賞。1996年度には芸術祭大賞を受賞。コレギウム・ムジクム東京主宰。

足立さつき Satsuki Adachi (ソプラノ)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ第30期修了。1986年第3回ニッカ椿姫新人賞第1位を受賞し、翌年『椿姫』のヴィオレッタ役でオペラ・デビュー。以後、『こうもり』のアデーレ、『フィガロの結婚』のスザンナ、『リゴレット』のジルダなど様々なオペラに出演し、清冽な声と華のある舞台姿でいずれも好評を博している。1991年より文化庁派遣芸術家在外研修員として、ミラノへ2年間国費留学を行ない、ミラノ音楽院にてカルラ・ヴァンニーニ、アルベルト・ソレジーナの各氏に師事。1998年9月『夕鶴』モスクワ公演で、“つう”役に抜擢され、故・團伊玖磨氏から大絶賛された。リサイタルや主要オーケストラとの共演、オペラへの出演のみならず、テレビ出演等ジャンルにとらわれない幅広い活動を行なっている。1992年 村松賞を受賞。二期会会員。

勝部太 Futoru Katsube (バリトン)

東京芸術大学大学院声楽科修了。1976年労音主催公演『カルメン』のエスカミーリョでデビュー。翌年『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール役で絶賛される。1979年文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。その後『ラインの黄金』『神々の黄昏』『タンホイザー』『フィガロの結婚』『こうもり』等数多くのオペラに出演。また、黛俊郎『金閣寺』、松村禎三『沈黙』、三枝成彰『忠臣蔵』、長野オリンピック記念オペラ・松下功『善光寺物語』、三善晃『遠い帆』等邦人作品にも多数出演。2003年日生劇場『ルル』への出演は記憶に新しい。團伊玖磨作品においても『素戔嗚』、『建・TAKERU』、『ちゃんちき』となくてはならない存在である。ドイツリート演奏者としての評価も高い。第45回日本音楽コンクール第1位、第7回・19回ジロー・オペラ賞受賞、第1回出光音楽賞受賞。二期会会員。

\* 團伊玖磨プロフィールは、別紙公演チラシをご参照ください。

主催・お問い合わせ 神奈川県民ホール【(財)神奈川芸術文化財団】

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1 TEL.045-633-3685 FAX.045-641-3184

プロデューサー:永井健一 制作担当:赤江

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>